

失語症の理解広げたい

失語症患者の特別講演会
と会員による体験談の発表
が行われた。失語症とは、
言いたいことがあるのに、
思うように言葉が出ない症
状のことで、ぼくはこの記
事を読むまで失語症という
病気を知らなかった。



失語症とは、言いたいことがあるのに、思うように言葉が出ない状態のことです。ぼくはこの記事を読むまで失語症という病気を知らなかった。

ぼくたちが普段何げなく発している言葉も思い通りに伝えられない人たちが

失語症 苦しき理解を

「友の会40年 講演や体験談」

福井

失語症とは、言いたいことがあるのに、思うように言葉が出ない状態のことです。ぼくはこの記事を読むまで失語症という病気を知らなかった。

かずき 和生さん(松陵中3年) 打它

る。中には自殺を考えた人
さえいる。普段発している言
葉が使えなくなったときの
苦しみは計り知れない。もし
家族が急に失語症になって
しまったら家族もまた失語
症との闘いになるだろう。

しかし、失語症について
理解してくれている人がい
れば、失語症患者の苦しみ
は和らぐと思う。そして、
理解してくれる人が増える
には友の会や報道を通して
世の中に広まる必要がある
だと思ふ。そのためには、
まず自分が失語症について
よく知り、患者の理解者と
なり、寄り添っていきたい。
また、世間に失語症の理解
が広まることを願う。

4月28日付(3面)